

# 銚子市地域公共交通の再編イメージ検討

## (公共交通の問題点・課題および目指すべき将来像)

---

### < 目次 >

1. 再編イメージの検討について .....	1
2. 想定される銚子市地域公共交通の問題点・課題(現時点の想定) .....	2
2-1 生活者の視点でみる地域公共交通の問題点・課題 .....	3
2-2 交通事業者の視点でみる地域公共交通の問題点・課題 .....	5
2-3 行政・まちづくりの視点でみる地域公共交通の問題点・課題 .....	6
3. 銚子市の地域公共交通が目指す将来像(現時点の想定) .....	8
4. 各種調査で把握すべき項目 .....	9

---

# 1. 再編イメージの検討について

現時点で入手できるデータやヒアリング調査結果等から「想定される銚子市の地域公共交通の問題点・課題」を整理し、それらを踏まえ「銚子市の地域公共交通が目指すべき将来像（再編イメージ）」を検討しました。

調査実施前に、問題点・課題・目指す将来像を仮設定することで、各種調査で把握すべき事項を整理します。

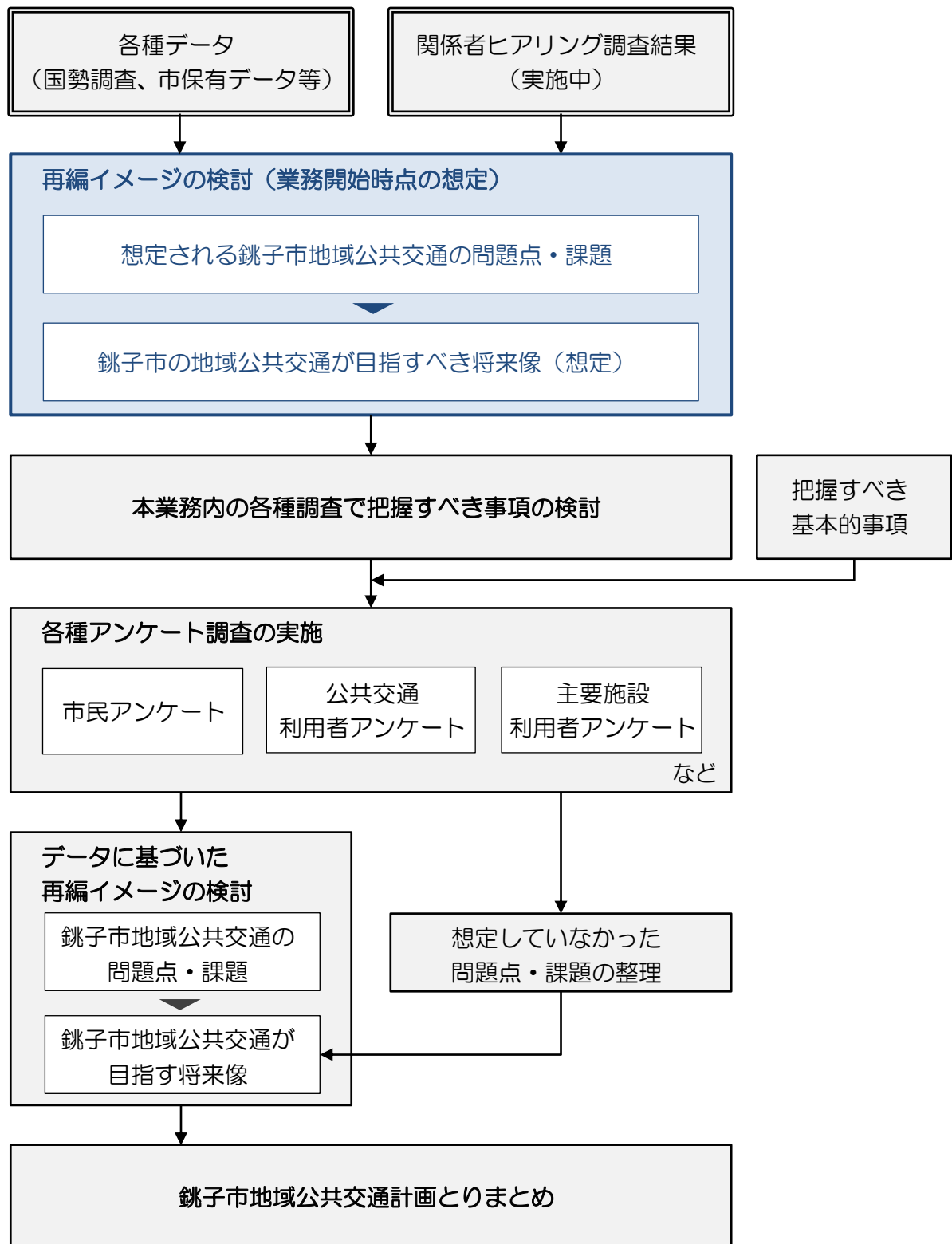


図 再編イメージ検討の流れ

## 2. 想定される銚子市地域公共交通の問題点・課題（現時点の想定）

現時点で入手できるデータや関係者ヒアリング結果を踏まえ、想定される銚子市の地域公共交通の現状・課題（やるべきこと）を想定しました。

これらの想定が正しいかどうかを各種調査によって、検証しながら、銚子市地域公共交通の問題点・課題を整理していきます。

※これらの想定は随時更新します



表 想定される銚子市地域公共交通の課題（やるべきこと）

公共交通の関係者		想定される課題
生活者	公共交通の必要性が高い生活者	① 高齢者などの生活を支える移動サービスの検討 ② 通学・通勤を支える広域移動サービスの維持・向上 ③ 公共交通不便地域に対する公共交通サービスの検討
	自家用車利用者	④ 新規公共交通利用者の獲得に向けた取組みの検討 【例】公共交通を知ってもらう取組み 使いたくなる公共交通サービスの検討 など
交通事業者	鉄道事業者	⑤ 運行効率化に向けた公共交通サービスの役割分担および連携 【例】JR 成田線と路線バスの運行区間重複 銚子電鉄と路線バスの運行区間重複
	バス事業者	
	タクシー事業者	
行政・まちづくり		⑥ 持続的なサービス提供に向けた公共交通の担い手確保 ⑦ 立地適正化計画と連携した公共交通ネットワークの形成 ⑧ 観光を後押しする移動サービスの検討 ⑨ まちの変化に対応した移動サービスの検討 【例】銚子中学校の統合を踏まえた通学手段の検討 新興住宅地のニーズに合わせた移動サービスの検討

## 2-1 生活者の視点でみる地域公共交通の問題点・課題

### 1) 公共交通の必要性が高い生活者の視点

#### 問題点・課題① 高齢者などの生活を支える移動サービスの検討

- 高齢化率は、平成 2 年から増加傾向にあり、令和 2 年時点では 38.2%となっています。
- 高齢単身世帯数も増加傾向にあり、平成 27 年時点では 3,434 世帯です。
- 豊里地区においては、路線バスが運行しているものの、最寄りスーパーである「フレッシュマルトモ」まで乗り入れていない状況もあります。このように移動サービスと移動ニーズがマッチしていない地区があると考えられます。※フレッシュマルトモは他のスーパーと比較して、安価であるため、近隣住民が日常利用している可能性が高い。
- これらのことから、今後、公共交通サービスの必要性は高まることが考えられます。高齢者や障害者・子育て世帯などが不自由なく、買物・通院などの外出を行うことができるような公共交通サービスの検討が必要であると考えます。

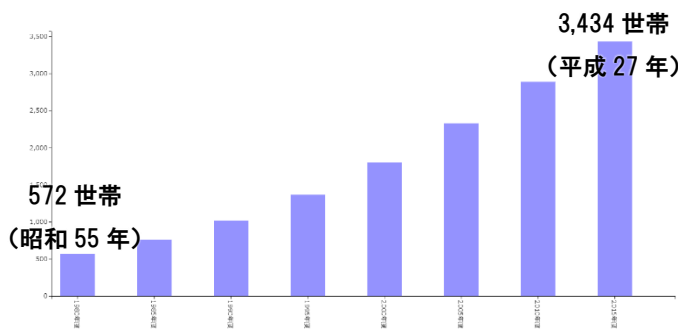


図 高齢単身世帯数の推移



図 フレッシュマルトモ(豊里台近辺)

#### 問題点・課題② 通学・通勤を支える広域移動サービスの維持・向上

- 令和 4 年に実施した「公共交通に関するアンケート結果」では、回答者の約 3 割が移動先を「通勤・通学」と回答しており、公共交通サービスが通勤通学を支えていることがわかります。
- 国勢調査の結果をみると、通学先・通勤先としては、旭市・神栖市が多く、市外への移動ニーズがあることが分かります。
- これらのことから、旭市・神栖市方面への広域的な移動サービスを維持・向上を図る必要があると考えます。

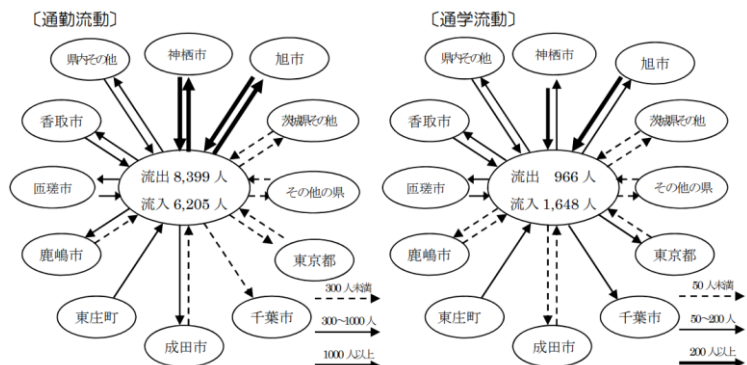


図 通勤通学流動

### 問題点・課題③ 公共交通不便地域に対する公共交通サービスの検討

- 市内には、人口集積が見られるものの公共交通サービスを利用しにくい地区が点在しています（豊里台、春日町など）。
- 自家用車を利用できる方は、日常生活に困らないかもしれませんが、自家用車を使えない方々にとっては、公共交通サービスが求められていることが想定されます。
- これらのことから、豊里台や春日町などの方々が日常生活に必要なお出かけができるような公共交通サービスの検討が必要であると考えます。

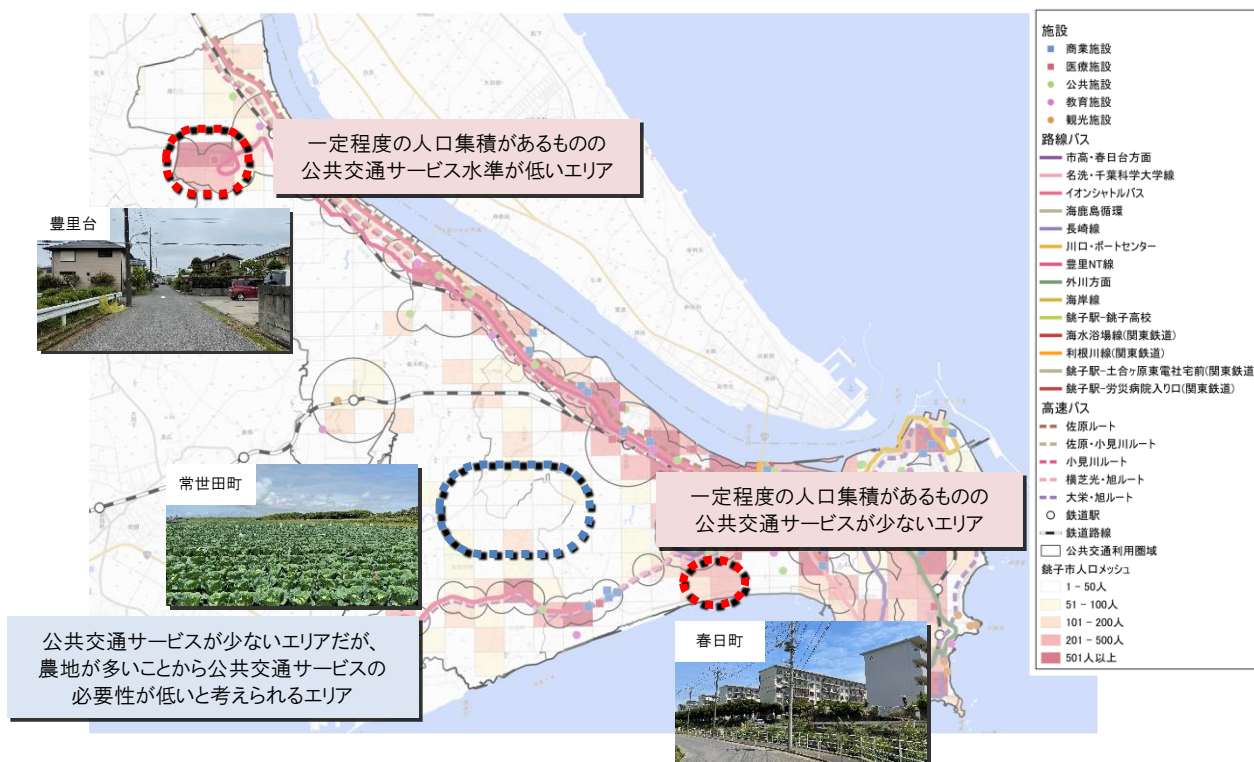


図 公共交通不便地域の例

## 2) 自家用車利用者の視点

### 問題点・課題④ 新規公共交通利用者の獲得に向けた取組みの検討

- 1世帯当たりの乗用車保有台数は0.9台（令和3年3月末時点）であることから日常的な交通手段が自家用車となっていることが想定されます。
- 銚子市総合計画の中でも「『公共交通はあって当然ではない。みんなで利用して残す』という意識を持つ」ことが市民・地域に求められています。
- 自家用車利用者数を「公共交通の新規利用者の伸びしろ」と捉え、利用促進に向けた取組みを進めることも重要であると考えます。公共交通を知ってもらうための取組の推進、使いたくなる公共交通サービスの検討を行う必要があると考えます。

## 2-2 交通事業者の視点でみる地域公共交通の問題点・課題

### 問題点・課題⑤ 運行効率化に向けた公共交通サービスの役割分担および連携

- 全国的な燃料費の高騰、人件費の増加等により、路線バス事業に係る負担は増加していることが想定されます。
- 地域内の公共交通網をみると、JR 成田線に沿うように路線バスが運行している区間、銚子電鉄と同様のエリアを路線バスが運行している状況もみられます。運行エリアが重複していることで、お互いに利用者を奪い合っていることも考えられます。
- さらに、市全域にはタクシーも運行しているため、役割重複等の確認が必要です。
- これらのことから、JR 成田線や銚子電鉄、路線バスの役割分担・連携により、効果的な運行圧縮などを検討することが必要であると考えます。

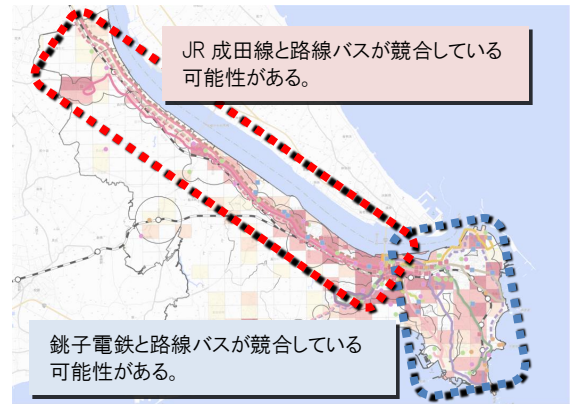


図 公共交通同士の競合が考えられるエリア

### 問題点・課題⑥ 持続的なサービス提供に向けた公共交通の担い手確保

- 持続的に公共交通サービスを提供するためには、人手（運行管理者・ドライバー等）が必須となります。近年では、「全国的なドライバー不足」が公共交通を取り巻く大きな問題となっており、本市内の交通事業者においても、例外ではないと想定されます。
- さらに 2024 年 4 月から「働き方改革関連法」の施行によって自動車運転者の拘束時間や休憩時間などが見直されることで、路線バスなどの減便を余儀なくされることが見込まれます。
- 公共交通を維持する取組として、地域住民が主体となるボランティア輸送サービスなども増えており、公共交通事業者以外によって輸送サービスが提供されることも増えています。
- また、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（以下、「活性化再生法」）の改正によって、従来の公共交通サービスに加え、地域の多様な輸送資源（自家用有償旅客運送、福祉輸送、スクールバス、施設送迎等）も地域公共交通計画に位置付けることが可能になりました。
- これらのことから、「公共交通事業者以外による公共交通サービスの提供」も視野に検討を行う必要があると考えます。

## 2-3 行政・まちづくりの視点でみる地域公共交通の問題点・課題

### 問題点・課題⑦ 立地適正化計画と連携した公共交通ネットワークの形成

- 本市においては、「コンパクト+ネットワークのまちづくり」を推進するため、令和4年度から立地適正化計画の策定を進めています。
- 立地適正化計画と地域公共交通計画は、都市づくりの両輪とされており、国土交通省が発行する「地域公共交通計画等の作成と運用の手引き」においても、両計画を一体的に策定するによる相乗効果が期待されています。（地域公共交通計画は“ネットワーク”の検討を担います。）
- これらのことから、立地適正化計画内で位置付けられる拠点間をつなぐ地域公共交通ネットワークの形成、拠点内の移動を支える公共交通サービスの検討が必要であると考えます。

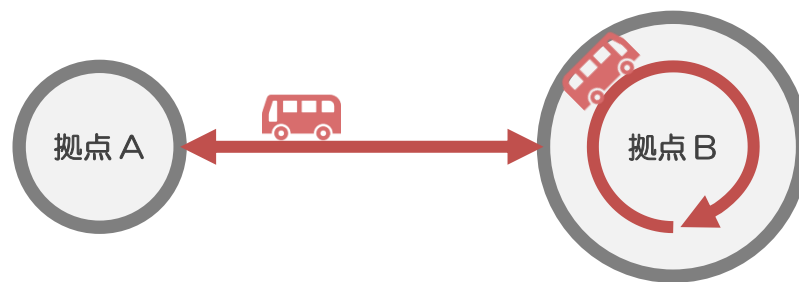


図 拠点間および拠点内の移動を支える交通サービスのイメージ

### 問題点・課題⑧ 観光を後押しする移動サービスの検討

- 令和3年の観光入込客数は年間約175万人（週に約3万3千人）です。新型コロナウイルス感染症流行前（平成29年～令和元年）は、年間およそ250万人（週に約4万7千人）であり、本市にとって観光分野は重要な産業の一つと考えられます。
- 観光施設の分布状況を見ると、東部地域に観光施設が点在していますが、複数の観光施設を周遊するための公共交通サービスが不十分であると考えます。
- 銚子電鉄の1日当たりの利用者数の推移をみると、減少傾向にあり、銚子市の観光資源でもある銚子電鉄の維持が難しくなることが想定されます。
- これらのことから、銚子電鉄の各駅から観光施設への交通サービス、観光施設と連携した企画乗車券などの検討を行い、観光客の利便性向上、銚子電鉄の収支改善を図る必要があると考えます。



犬吠テラステラス



屏風ヶ浦



うおっせ21

## 問題点・課題⑨ まちの変化に対応した移動サービスの検討

- 本市においては、中学校の統廃合を進めており、2027年度には銚子中学校（第一中学校、第二中学校、第三中学校と統合）と銚子西中学校の2校のみとなる予定です。これにより、学区が広がるため、これまでよりも遠方から通学する生徒が増えると考えられます。
- その他には、明神・黒生地域、海鹿島・小畑地域などの比較的新しい住宅地もみられることから、これまでになかった新たな移動ニーズが生じている可能性も考えられます。
- これらのようなまちの変化を整理し、新たな移動ニーズ、今後減少する移動ニーズを踏まえた移動サービスの検討が必要であると考えます。

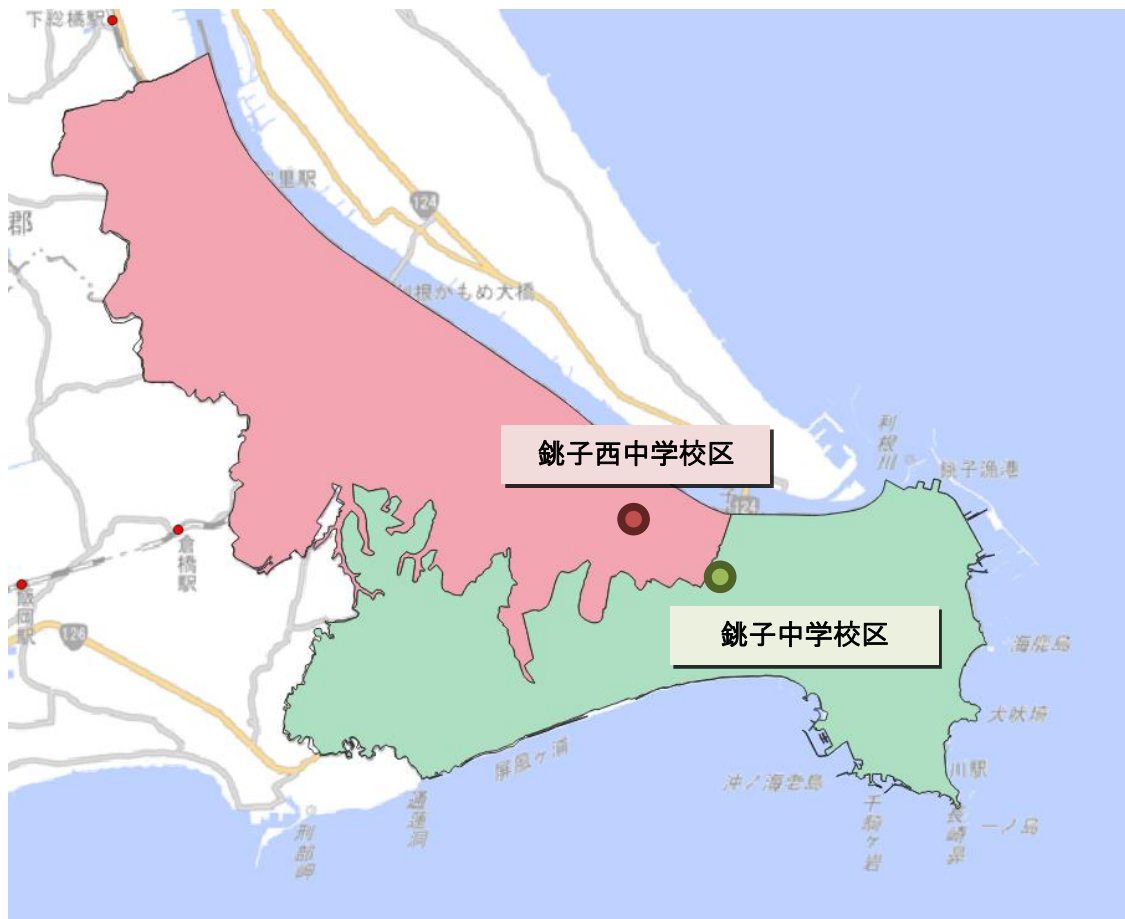
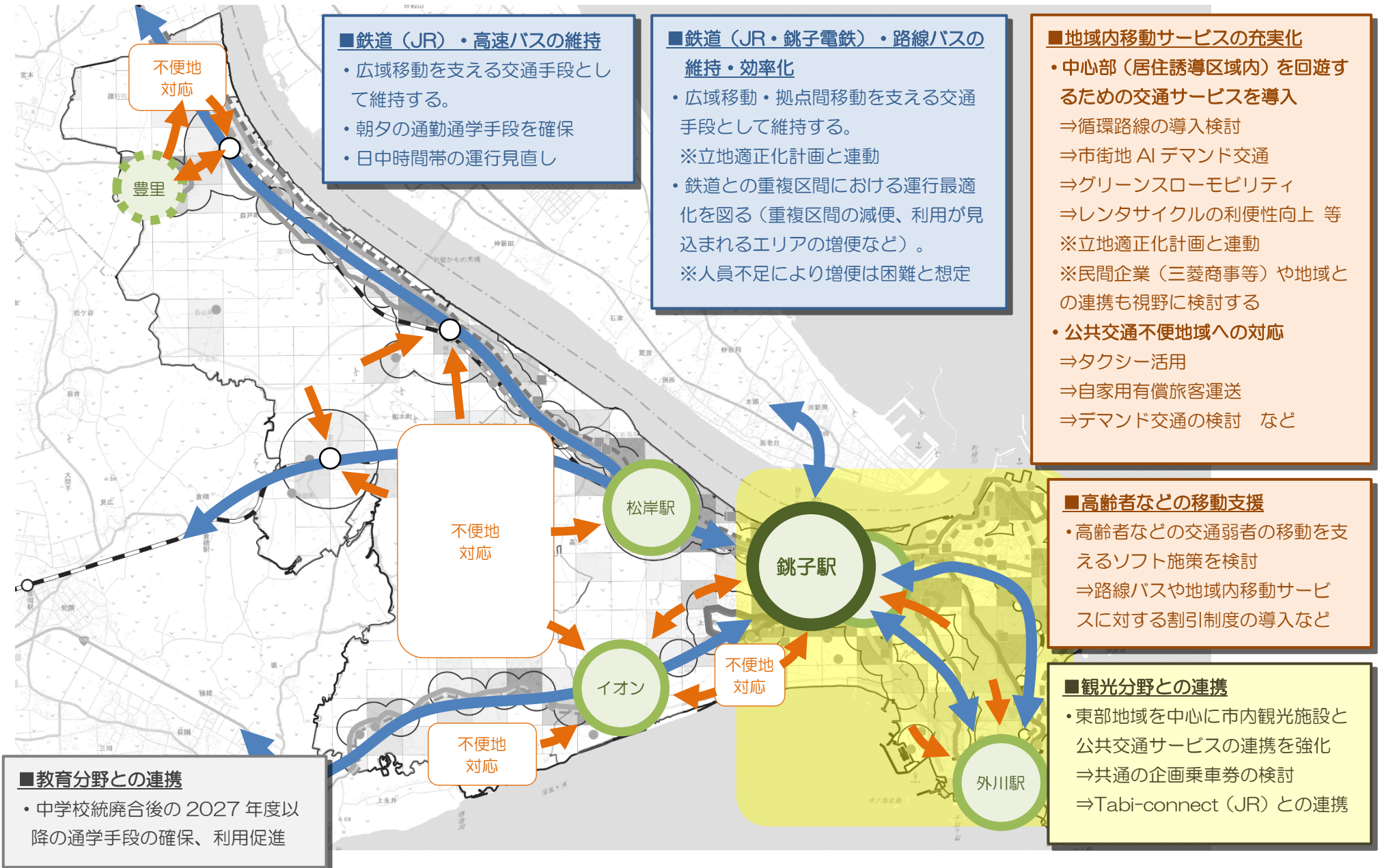


図 統廃合後の中学校区(予定)



### 3. 銚子市の地域公共交通が目指す将来像（現時点の想定）

現状や問題点・課題を踏まえて、銚子市の地域公共交通が目指す将来像（交通体系、施策イメージ）を下記のとおり、整理しました。



■鉄道 (JR)・高速バスの維持

- ・広域移動を支える交通手段として維持する。
- ・朝夕の通勤通学手段を確保
- ・日中時間帯の運行見直し

■鉄道 (JR・銚子電鉄)・路線バスの維持・効率化

- ・広域移動・拠点間移動を支える交通手段として維持する。
- ※立地適正化計画と連動
- ・鉄道との重複区間における運行最適化を図る（重複区間の減便、利用が見込まれるエリアの増便など）。
- ※人員不足により増便は困難と想定

■地域内移動サービスの充実化

- ・中心部（居住誘導区域内）を回遊するための交通サービスを導入
- ⇒循環路線の導入検討
- ⇒市街地 AI デマンド交通
- ⇒グリーンスローモビリティ
- ⇒レンタサイクルの利便性向上 等
- ※立地適正化計画と連動
- ※民間企業（三菱商事等）や地域との連携も視野に検討する
- ・公共交通不便地域への対応
- ⇒タクシー活用
- ⇒自家有償旅客運送
- ⇒デマンド交通の検討 など

■高齢者などの移動支援

- ・高齢者などの交通弱者の移動を支えるソフト施策を検討
- ⇒路線バスや地域内移動サービスに対する割引制度の導入など

■観光分野との連携

- ・東部地域を中心に市内観光施設と公共交通サービスの連携を強化
- ⇒共通の企画乗車券の検討
- ⇒Tabi-connect (JR) との連携

■教育分野との連携

- ・中学校統廃合後の 2027 年度以降の通学手段の確保、利用促進

## 4. 各種調査で把握すべき項目

前項までの内容を踏まえ、「想定される課題を検証・深掘りするために把握すべき項目」「目指す将来像がふさわしいかを確認するために把握すべき項目」を下表のとおり整理しました。

関連する 問題点・課題	把握すべき項目（案）	把握するための調査					
		アンケート 市民	意見交換会 地区別	アンケート 施設利用者	公共交通利用者 アンケート	アンケート 民生委員	ヒアリング 関係者
問題点・課題①	高齢者や子育て世帯の移動状況、移動に関する困りごと	●	●		●	●	
問題点・課題②	通勤通学状況（時間帯・行き先・交通手段）	●			●		●
問題点・課題③	公共交通不便地域住民の移動状況・移動に関する困りごと	●	●	●		●	
	公共交通不便地域住民の公共交通利用意向	●	●				
問題点・課題④	自家用車利用から公共交通利用への転換可能性、改善点	●	●	●			
	公共交通を利用しない理由	●	●	●			
	公共交通を利用する理由、便利な使い方	●	●		●		
問題点・課題⑤	公共交通サービス同士の競合状況	●			●		●
問題点・課題⑥	市民が求める新しい公共交通サービスの内容	●	●	●			
問題点・課題⑦	拠点間および拠点内の移動状況	●					
	拠点内の移動における公共交通サービスの利用意向	●					
問題点・課題⑧	観光客の移動状況、移動に関する困りごと			●			●
	観光型 MaaS（EeeE 銚子）の利用状況			●			●
問題点・課題⑨	市内の住宅開発等の動向						●

### 【参考】問題点・課題

①高齢者などの生活を支える移動サービスの検討 / ②通学・通勤を支える広域移動サービスの維持・向上 / ③公共交通不便 地域に対する公共交通サービスの検討 / ④新規公共交通利用者の獲得に向けた取組みの検討 / ⑤運行効率化に向けた公共交通サービスの役割分担および連携 / ⑥持続的なサービス提供に向けた公共交通の担い手確保 / ⑦立地適正化計画と連携した公共交通ネットワークの形成 / ⑧観光を後押しする移動サービスの検討 / ⑨まちの変化に対応した移動サービスの検討